

## 評価結果概要表

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870102922
法人名	有限会社ケアサ-ビスはまゆう
事業所名	はまゆう堀江
所在地	松山市福角町甲200番地1
自己評価作成日	平成26年11月1日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成26年12月18日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

長閑で閑静な住宅地の一軒家の建物でリビングは吹き抜け構造で開放感があり、庭園には畑四季折の花壇あり、共に過ごし 学び 支え合う関係を構築し、喜怒哀楽を共にして、健康管理を行っている。日々の暮らしの中で、得意分野を発揮し、地域の方と農作業をしたり、成長を楽しみ新鮮な野菜や果物を収穫して楽しく和やかな雰囲気です。環境に恵まれた地域で、散歩し、季節のお花を頂いたり、生けたり、個々の残存能力を活かし、のびのびと自由な暮らしを送りながら地域に根ざしたアットホームなわが家です。

入居後から週1回は、ご主人が入所している施設へ会いに行けるよう、送迎しているケースがある。利用者ご本人は「今年の願い事」に、「週1回主人と面会してのデートが楽しみ」と書かれたようだ。幼い息子さんを亡くした利用者がお墓参りを希望していることをご家族に話し、管理者が同行してお墓参りに行かれたこともある。同級生との手紙のやり取りを継続できるよう支援しているケースでは、同級生の方が会いに来てくれて、30年ぶりに再会できたようなことがあった。行事時には、元利用者のご家族がフラダンスを披露してくれており、利用者も衣裳を着けて一緒に踊って楽しんでいる。  
外部研修参加者が作成した報告書を回覧し、情報を共有している。出勤時には、必ず記録に目を通して、利用者個々の状況を把握してから関わる仕組みを作っている。職員の一人名は、「就業時に、インターネットで外部評価をみて、この事業所に決めた」と話して下さった。

### ・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)		

# 自己評価及び外部評価結果表

## サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

### 【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

### 用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 はまゆう堀江

(ユニット名) 1ユニット

記入者(管理者)

氏名 近藤 美由紀

評価完了日 26 年 11月 1日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>理念に基づく運営</b>				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 理念に「自立 自発 環境 地域との交流」を掲げ全職員で共有し反復しながら、理念に基づいたケアの実践を目指し取り組んでいる。本人の気付きを大切に残存能力を発揮出来るよう環境に努め、日々の中で全職員が意識し、地域の方との交流を深めて実践に努めている。 (外部評価) 理念は「自立 自発 環境 地域との交流」をキーワードに3項目作成し、額に入れて事務所や居間に掲示されており、さらにパンフレットにも明示されている。法人代表である管理者は、日々のケアの中で職員に理念を話し、自らが実践に努めながら職員を牽引されている。管理者は、地域との交流に積極的に取り組みながら、「暖か(あったか)わが家」をキャッチフレーズに「共楽 共遊 共学 やすらぎ」のある事業所を目指しておられる。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 事業所は、地域の一員として行事 地域活動に参加したり、近隣の方と気軽に声掛けあったり、立ち寄って頂けるような環境を目指し交流を深めている。 (外部評価) 管理者は、開設当初から利用者と一緒に地域の清掃活動や行事等に積極的に参加しており、地域とのかかわりを作っておられる。又、畑の野菜作りや収穫物の交換、おすそ分け等を通じて交流を深めている。地域の方を誘って近所の公園にてお花見を行った際には、地域の方がシート等の準備や片付けをしてくださった。散歩時や事業所の畑で顔見知りの方に出会う時には、利用者の方から挨拶することもよくある。車いすで散歩する利用者の様子を見た近隣の方が、利用者全員にひざ掛けをプレゼントしてくださったこともあった。近隣の方から花の苗をいただいた時には、利用者と一緒に大切に育て、お花が咲いたらその方に届ける等して、おつきあいを深めておられる。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 一緒に過ごす 学ぶ 支え合う関係を築き 職員と共有している。喜び 楽しみを共感し利用者の言動から学ぶ大切さ 尊厳 利用者の安心 安定を生み出し構築関係に努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価) 運営推進会議開催することで地域 家族との交流が出来、地域の中で日々の暮らしや地域で支えて頂いている様子が実感でき、安心していただけている。防災等について地域の現状避難場所 方法等詳しく指導して頂いている。</p> <p>(外部評価) 会議には、民生委員や老人会、近隣の方等、地域の方が3~5名とご家族1~2名が参加されている。会議では、利用者の状況や行事、取り組み等の報告を行い、意見をうかがっている。又、避難訓練やクリスマス会等と併せて会議を行い、参加者に利用者の様子やサービスの実際を見ていただいている。クリスマス会では、地域からの参加者がサンタクロース役をしてくださるようだ。会議時には、利用者がお茶を出すことが役割となっている。</p>	
5	4	<p>○市町村との連携 市町村担当者とは頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 運営推進会議を通して指導して頂いたり、行事参加にて日々の利用者の活動状況等意見交換してサービス向上に活かしている。</p> <p>(外部評価) 運営推進会議時には、市の担当者から食中毒やノロウイルス等の感染症発生状況について報告があったり、感染予防対策についてのアドバイスがある。今年度、市社協が取り組んでいる「介護相談員派遣事業」には、事業所もモデル事業所として参加されている。利用者は、月2回ある訪問日を楽しみにしており、野菜作りや食事・行事のこと等をお話されるようだ。11月の運営推進会議には、介護相談員の方にも参加していただいた。</p>	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 全職員は身体拘束の内容とその弊害を認識し身体拘束しないケアに取り組みに努めている。「どんな事があっても拘束は行わない」姿勢で安全に向けたケアに努めている。門扉開放しており、庭の様子が見えたり、玄関は施錠せず居間は開放感あり行動制限もしないように努めている。</p> <p>(外部評価) 職員は、月一回のカンファレンス等で身体拘束について学んでおられる。今春、利用者が一人で出かけたことがあったが、毎日の散歩コースを辿ってすぐに見つけることができた。その際、利用者は、「よかった」と言われたそうだ。今夏、利用者に不穏状態がみられた時のみ、一時的に玄関を施錠したことがあるが、近隣の方が訪ねて来て疑問に思われたようで、運営推進会議時にそのことについて質問があり、管理者が事情を説明された。玄関にセンサーを付けているが、現在は使用せずに見守っておられる。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 虐待とは何か?研修を行い、精神的 身体的に気づかずしていないかお互いに意見交換しながら虐待の徹底防止に努めている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) ミーティング等にて後見人制度の理解に努め必要と考えられる利用者が活用する為の話し合いや関係機関への橋渡し等が出来るように支援する。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約や契約解除の際には、説明を行い理解 納得されたか確認して疑問や不安がないように充分説明している。解約時日程等も相談しながら行っている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 朝礼にてその日の出来事等を利用者に話す機会を設けて意見交換している。家族の面会時や運営推進会議等にご利用者の状態を報告したり、利用者が寄せ書きして手紙書いたり様々な分野から意見や要望等反映して職員の質と意欲の向上努めている。	今後も、会議や行事により多くのご家族に参加いただけるよう工夫を重ね、一緒に勉強や活動をする機会をつくり、ともに利用者を支えていかれてほしい。
			(外部評価) 管理者は、高齢者の誤嚥事故の記事をきっかけに、面会時等にご家族に食事形態について意見を聞き取られた。「細かく切ってほしい」「本人の意向と状況に任せる」等の声があったようだ。運営推進会議の前後に、ご家族の参加状況に応じて家族会を持つようにして、意見を聞く機会を作っている。ご本人の誕生日に、ご家族から利用者全員分のケーキが届くようなこともあり、写真入り葉書に利用者の寄せ書きを添えてお礼状を送られた。12月に行うクリスマス会と運営推進会議の案内の葉書は、今回初めて利用者から出せるよう取り組まれた。写真の横に「今年こそ来て下さい。〇〇さん皆でまっています」「かぜを引かないようにね。クリスマスには来て下さいね」等、ご本人の一言を添えられた。管理者は、ご家族の参加を期待されていた。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 日々の実践の中で個々利用者が快適な環境で暮らすことが出来るようにカンファレンス等にて意見交換したり、職員の役割や、ケアする意味、目的等解説し、一人ひとりのより良い暮らしを目指しスキルアップに努めている。	
			(外部評価) 今回の自己評価は、職員が個々に取り組み、管理者がまとめられた。外部研修参加者が作成した報告書を回覧し、情報を共有している。出勤時には、必ず記録に目を通して、利用者個々の状況を把握してから関わる仕組みを作っている。職員の一人は、「就業時に、インターネットで外部評価をみて、この事業所に決めた」と話してくださった。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 職員の個々の環境によって勤務形態等希望を取り入れ事情も配慮し、労働時間等考慮し働きやすい環境整備に努めている。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 関連する研修資料を回覧し外部研修参加するよう働きかけ技術や知識を習得し内部研修にて職員間で共有し質の向上に努めるように育成している。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 同業者との交流を図り、日頃の職場内のことや緊急時の対応時等様々な分野に於いて意見交換しサービスの質の向上に繋がるよう取り組んでいる。	
<b>安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 施設見学時利用者 家族の生活状況や要望に傾聴し利用者の思いや心身状態等受容し信頼関係が図れるように努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 事前面談時家族の立場に立って家族の要望等傾聴し、受容しながら信頼関係を構築している。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談時利用者 家族の事情や要望を見極め事業所として出来る限り対応している。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 一緒に過ごす 学ぶ 支え合う関係を築き 職員と共有している。喜び 楽しみを共感し利用者の言動から学ぶ大切さ 尊厳 利用者の安心 安定を生み出し構築関係に努めている。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 利用者の様子や施設の状況等家族と情報交換を密に行い、一方的な関係だけでなく共に支えていく関係を構築している。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 個々の馴染みを大切に実現できるような環境を提供している。退所後も家族との関係を継続しており、御主人の面会に出かけ楽しいひと時を過ごされたり、同級生が尋ねてこれ懐かしい思い出話を楽しまれ、人間関係が継続している。	
			(外部評価) 入居後から週1回は、ご主人が入所している施設へ会いに行けるよう送迎しているケースがある。利用者ご本人は「今年の願い事」に、「週1回主人と面会してのデートが楽しみ」と書かれたようだ。若い息子さんを亡くした利用者がお墓参りを希望していることをご家族に話し、管理者が同行してお墓参りに行かれたこともある。同級生との手紙のやり取りを継続できるよう支援しているケースでは、同級生の方が会いに来てくれて、30年ぶりに再会できたようなことがあった。行事時には、元利用者のご家族がフラダンスを披露してくれており、利用者も衣裳を着けて一緒に踊って楽しまれている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 和気あいあいの家族関係が保たれている。利用者同士が共に助け合い、支えあいながら利用者間の関係が保たれている。さらなる利用者が孤立せず共に楽しく暮らせるような環境に努める。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 退所後も家族との関係を大切に柔軟な対応している。、相談を受けたり、行事に参加して頂いたりして継続的な関係が保たれている。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 個々の思いや希望、意向を把握して、困難 無理と決め付けず、職員全員が一人ひとりの思いや意向について重視し、実現できるような環境を提供している。さらなる本人の視点に立って意見交換して取り組みをしている。	
			(外部評価) 年初めに利用者全員が「今年の願い事」を短冊に書き、「仲良く楽しい毎を送りたい」等の言葉があった。又、時折アンケートで希望や要望を把握するような取り組みをされている。昼食後、管理者がクリスマス会の出し物の希望を聞く「踊りはなかないかん」と二人の方が答えておられた。現在、希望等表せる利用者が多く、ご本人の言葉や会話等は日々の個別記録に記入して共有されている。調査訪問時、「ここに来てよかった」「ここにいて幸せ」という利用者の言葉が幾度となく聞かれた。	個々の希望や要望、思い、又、終末期のあり方等、把握した利用者の情報を蓄積して、一目で解り共有できるような仕組みを工夫してみてもどうだろうか。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 利用者個々の生活歴や生活環境の経過等の把握に努めプライバシーに配慮しながら職員が利用者や家族等と馴染み関係を築き継続して生活が送れるように支援している。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 毎日起床時にバイタルチェックを行い、健康状態を観察しながら一日の暮らしの中で個々のできる力 わかる力等発見し、役割や生き甲斐に繋げ取り組みしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価)	
			本人の想いや家族の意向を大切にしながら、より良く暮らすための課題とケアについて、本人 家族 関係者と話し合い、気づきや意見を反映し必要に応じて家族 地域 ボランティアの支援も取り入れて介護計画を作成している。	
			(外部評価)	
			事業所では、「本人の状況に応じた介護計画」の作成に努力されている。身体状況等のアセスメントを年一回取り直して、計画に反映させている。月一回職員で話し合いながらモニタリングを行い、半年に一回、又は状態変化時に評価と見直しをされている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)	
			日々の様子やケアの実践、結果 気づきや工夫を個別に記録し、職員間で情報を共有し、日々の記録を根拠にしながら介護計画の見直しに活かしている。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価)	
			本人や家族の状況や要望に向き合い本人の暮らしを継続的に支えることを大切に柔軟な支援に取り組んでいる。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価)	
			住み慣れた地域で個々の出来ることを協働して、奉仕活動したり、地域の回覧を利用者と共に行い個々の残存能力を発揮している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) かかりつけ医は、家族 本人の意向を重視し希望に沿って同意得ている。事前に家族に報告し代表者が同行して情報提供している。結果は、家族に連絡し、今後の方針等相談し適切な医療が受けられるように医療機関と連携を図っている。	
			(外部評価) 不穏状態があり、主治医から入院を勧められたが、ご家族の意向等に沿い、主治医と連携し通院しながらケアの工夫に努めて、状態が落ち着いてきている方がいる。今夏95歳を超える利用者が、居室で転倒し骨折入院した際には、管理者は高齢の方の入院による弊害を考慮し、ご家族と相談して手術後2週間で早期退院できるよう支援された。現在、職員が見守り、歩行器で歩行練習をされている。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	(自己評価) 毎日バイタルチェック行い、心身状態 食事 排泄等看護職員に伝達し情報を共有し必要に応じて医療機関と連携図って個々の健康管理に努めている。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	(自己評価) 入院時状態に応じて可能な限り、職員 利用者が面会し、安心して治療が出来るようにしている。利用者のストレスや負担軽減の為家族と相談しながら医療機関に本人に関する情報の提供を行い早期退院が出来るように医師と面談し相談している。	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 代表者は、入居契約時に重度化した場合や終末期について本人 家族から意向を聴取し、終末期あり方について事業所の方針を充分説明している。利用者の状況に応じて全職員で検討し、本人 家族の意向を確認しながら医療機関と連携体制に取り組んでいる。	
			(外部評価) 開設後、2名の利用者の看取り支援を経験されている。ご家族の意向に沿って、医療機関と職員、ご家族が連携し、他利用者もご本人に声を掛けたり、手を握る等して一緒にかかわられた。ご本人の希望を聞き取り、亡くなる数日前まで庭に出てお好きな花を眺めたり、好物を食べられるよう支援された。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 利用者の急変時や事故発生時に慌てず適切な応急手当や初期対応が出来るように外部研修参加し、全職員に周知している。ミーティングにて演習を行い、ヒヤリハットや事故報告書を提出し、検討会議実施し再発防止に努めている。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 運営推進会議等にて利用者の状況を報告し、災害時の具体的な非難対策について検討し、非難場所 避難誘導 経路等復唱し発生時には迅速に対応出来るように日々の訓練強化している。消防署、地域の方々と一緒に訓練を行う等取り組んでいる。	
			(外部評価) 年2回、避難訓練を実施しており、内1回は夜間の火事等を想定し、消防署の協力を得て行っている。防災や地域の災害について詳しい近隣の方が運営推進会議に参加してくれており、避難時のアドバイスや津波時の避難場所等を教えてもらっている。昨年度は、建物の居室側から、お隣の企業駐車場に出られるよう、避難経路を造設された。さらに、近隣の方が手作りでスロープを設置してくださった。避難経路を示した図が、廊下等数ヶ所に貼られている。緊急連絡網には、地域の方が6名協力されている。水や食料品等、近隣の方の分も備蓄されている。	
<b>.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 日々の関わりをミーティング等にて反復し全職員の意識向上を図ると共に利用者個々の誇りを尊重し、プライバシーを損ねない言葉かけや対応に努めている。人前であからさまな介護 誘導の声掛け等は、さりげなく声掛け配慮する。	
			(外部評価) 利用者一人ひとりの力を活かして、個々に役割や出番を作っており、又、利用者が自発的に動く「ケアの環境」作りに努めておられる。居間の季節ごとの飾り付け等も利用者と一緒にっており、自ら夕食後にクリスマスツリーの電飾や庭のイルミネーションのスイッチを入れてくれるようだ。生け花が得意な利用者は、玄関の花を活けておられる。管理者は、居間で新聞を読む利用者に記事について質問し、説明してもらっている。近隣の方からおすそ分けがあると利用者が応対したりお礼を言われている。利用者と一緒に、退院する方を祝う「紙ふぶき」を作ったことがきっかけで、お祝いの言葉をご自分で書いて退院日に読まれた方がいる。事業所で作っている野菜は、「畑作りする方」「畑から戻った方をお疲れ様、お帰り迎えの方」もあり、皆がかかわっていると感じられるように支援されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 個々の思いや 希望を意図的に引き出す取り組みの大切を全職員に周知し、表情や反応を汲み取りながら本人の希望や思いが表現できるような働きかけている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 個々の生活リズムや、本人がしたいと思っていることを大切に優先し日々の暮らしがその人らしいものになるよう支援している。希望に沿って全職員が利用者に合わせていく姿勢や実践に努めている。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 本人の心地 落ち着き等考慮し、一人ひとりの個性 に希望に応じて髪型や服装の身だしなみやおしゃれを個別に支援し、職員の一方的な価値観は避け本人の好みや残存力に応じた支援に努める。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 日々の暮らしの中で食事は利用者にとって楽しみの一つ、一日の大切な活動 力の発揮や参加 利用者や職員の関係を構築し食事一連の作業を利用者と共に職員が行い、楽しいお茶の間で新鮮な野菜果物をもっとし、季節毎に美味しく味覚を味わう事が出来る環境を提供している。配膳 下膳も自発的に行い出来ない方への気配りも自らされ利用者同士の支え合いが出来和やかな雰囲気食事が出来ている。	
			(外部評価) 日々の献立は、事業所の畑で採れた野菜や近隣の方から届いた野菜や果物を用いて、利用者の希望を反映しながら調理されている。調査訪問日の食事は、利用者の案でお寿司に決まったようだ。さらに、ラヂッシュとかんきつが入った彩り良いサラダと種類の野菜の煮つけ、利用者が作った干柿とかぶの酢物の献立になっていた。利用者は、お寿司に添える栗を剥いたり、野菜を洗ったりされたようだ。お箸とお茶碗は、個々に準備して、配膳台から自分のものを選び、お汁碗やお皿等も一品ずつ自分の食べるものを食卓テーブルに運んでおられた。配膳台まで取りに行くことが難しい方には、職員がお盆に乗せて運んでおり、献立を見た利用者が思わず「おいしそう。お父さんにも食べさせてあげたい」と言われた。又、「食べるのも楽しいけど、野菜を作るのも楽しい」と話してくれる利用者もあつた。管理者は「皆が栗の皮を剥いてくれたからおいしい」「地域の方からいただけるから高級な柑橘を食べることができる」と感謝の言葉を話しておられた。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 疾病状態に応じて個々の水分や食事量 体重や活動をチェックしカロリーの過不足や栄養偏り、水分不足にならないように日々記録し全職員が状態を把握し情報を共有出来るようにしている。定期的に医師と連携図り、必要に応じて検査し、バランス調整が取れているか専門的にアドバイス受け支援している。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 口腔ケアの重要性を全職員が理解し、本人の習慣や有する力を活かしながら毎食後の嗽や口腔内の手入れ 清潔維持に努めている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 個々の排泄習慣を把握し、最初から出来ないを決めず日中は、トイレ誘導にて気持ちよく排泄出来るように促している。全職員は、本人の意欲や自信の回復 食や睡眠等の身体機能の向上に繋げている。	
			(外部評価) 排泄チェック表を確認しながら、トイレの声掛けや誘導を行っている。現在、6名程の方はご自分でトイレに行っており、日中は全員の方がトイレで排泄できるよう支援されている。男性用便器を備えているが、現在、男性利用者はいない。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 利用者一人ひとりの排泄習慣を把握し、便秘の原因を探り自然排便を促す工夫をしている。下剤や浣腸等に習慣化しないようにトイレでの排泄が自力で出来るように支援を行っている。	
			(外部評価)	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 利用者個々の希望や思いを大切にアンケート等して確認している。脱衣 裸になる 恥じらい心 恐怖心 身体の負担等に全職員が理解し入浴を拒む利用者に対し言葉掛けや対応に工夫して、安全に入浴を楽しんで頂ける様な支援をしている。	
			(外部評価) 前回の外部評価結果を受けて、利用者に入浴についてアンケートを実施し、希望を確認された。アンケートで聞き取った結果を受け、週2回、日中の入浴を基本に支援されている。夏場は、毎日シャワーを浴びたい方もいて、希望に沿って支援されている。冬場は近隣の方がたくさんの柚子をくださり、毎日柚子湯を楽しまれている。事業所内を案内してくれた利用者は、「このシャワーは、強くて気持ち良く、今は柚子の香りが楽しい」と話して下さった。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 一日の流れの中で一人ひとりの必要な休憩や睡眠が取れているか把握し、環境や生活リズムを整え日中の活動や出来事等も総合的に視野に入れ夜間安心して安眠出来るように支援している。	
			(外部評価)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 服薬管理は、管理者 看護師が管理しており、目的や副作用量等その都度説明している。本人の状態の経過や変化に関する日常の記録を行い速やかに医師に情報を提供している。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 日々の暮らしの中で一人ひとりの生活歴 役割 楽しみ 活力を引き出し個々の残存能力を發揮出来るように支援している。得意分野を活かせ経験や知恵 残された力が最大限に發揮出来るような環境に取り組みしている。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 個別支援を継続し 毎日全員散歩して気分転換やストレス解消に努めている。五感を活かし四季折のお花見や行事に参加したり、地域の方から果物等頂いたり、差し上げたり近所付き合いの協力が継続して戸外での暮らしも楽しまれている。重度化しても全員で戸外で気持ちよく生き々と共に過ごされる環境も提供し日々の生活を全員で和やかに 共楽 共遊出来るように支援している。	
			(外部評価) 悪天候の日以外は、毎日利用者全員の方が個々の状態に応じたコースを散歩されている。利用者は、近隣の様子を良く知っていて、メダカがいる庭やお花が綺麗な庭等を眺めるのを楽しみに散歩されている。新人職員には、利用者が道案内をされるそう。又、事業所の庭や近くにある事業所の畑で野菜作りを楽しんでおられる。近くの海岸に、手作りのおにぎりやサンドイッチ、皆で育てたスイカを持って出かけ、ビーチバレーやシャボン玉をしたり、秋には海岸でも炊き等して楽しまれている。ドライブしながらお花見の場所を探すこともある。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 個々の状況に応じてお金の所持は異なり、使わなくても自分で所持することで安心したり、身に付けて楽しまれている。お金の一部管理したり 出納を確認したり必要な物買ったり出来るように支援している。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 幼馴染に手紙出したり、家族に行事等の案内 頂き物の礼状等全員で寄せ書きしている。自ら年賀状も書かれている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 共用生活空間はやすらぎ居心地良く過ごせるように職員全員が視野に入れ我が家の理念であり反復している。リビングは、吹き抜け構造で明るく開放感あり、朝は輝かしく日差しを浴びて室内には観葉植物季節の花を生けたり、置き物等設置したり、自由な暮らしが継続出来るように職員全員で環境に取り組んでいる。四季に応じて室内の配置等にも考慮し温度計設置して健康管理にも重視している。	
			(外部評価) 門扉から玄関までの通路の両側には、四季折々に咲く草花が植えられており、玄関前にはパンジー等が咲くプランターが並べられている。桜の木やサクランボ、桃、ビワ等果物の木もあり、利用者は果物等の収穫も楽しまれている。又、玄関の内扉はガラス張りになっていて、椅子に腰かけて庭に咲く花や緑を眺めることも楽しみとなっている。調査訪問日、居間にはクリスマスツリーが2つ置かれてあり、窓や吹き抜けになっている高い壁面にも飾り付けして、クリスマスソングが流れていた。利用者のお一人は、「私はミッションスクールを出ているので、いろいろなクリスマスソングが聞けて嬉しい」と話しておられた。ほとんどの利用者は、日中は居間で過ごしており、調査訪問時の午後にはクリスマスソングを練習する歌声が聞こえていた。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 玄関先にはベンチ設置し、庭の花や 菜園を眺めて心が癒されたり、リビングにはソファで利用者同士がくつろぎの居場所となっていて、季節に応じて畳みの間でコタツで団らん出来自由に仲間同士か支えあいながら継続できるような環境に努めている。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 住み慣れた環境が継続出来るように配慮し自室には、使い慣れた物や好みの物があり、大切に活かせるように支援する。家具や置物の配置に配慮し、不安やストレスにならないように、居心地良くプライバシーを大切に安心して過ごして頂けるような環境に努めている。	
			(外部評価) テレビを持ち込んでいる利用者は「夜ベッドで寝ながらテレビを見るのが楽しみ」と話しておられた。又、ラジオを持ち込んでいる方は、「テレビはないけど、ニュースが早いラジオを聞いている」とラジオを指さして話されていた。カレンダーに毎日○印を付けて日付を確認している方もある。天気の良い日は、居室の出窓から布団を干し、ご本人が取り込む方もある。干さない日は、ご本人や職員がベッドの足元の方にたたむようにされている。全居室に温度計を備え、職員が室温調節をされている。事業所では「持ち込み物が多いと居室で転倒の原因にもなる」と考え、現在は、居室への持ち込み物や飾り物は少な目をお願いしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) ひとり一人の力を見極め、不安や混乱に陥ることなく、安全で自立した生活が送れるように全職員で検討しながら環境整備に努めている。	